



第 92 号

平成 25 年 1 月 1 日

発行

本荘由利森林組合

由利本荘市水林 381

TEL 0184 24 4141(代)

FAX 0184 24 4143

木材流通センター 由利本荘市西目町沼田字新道下 1019 1
TEL0184 32 1088 FAX0184 32 1089

製材工場『木香里』 由利本荘市西目町沼田字新道下 1020 1
TEL0184 32 1080 FAX0184 32 1081

HP <http://www.honmori.com/>

メール honmori@trad.ocn.ne.jp



新年あけまして
おめでとうございます



新年のごあいさつ

代表理事組合長

小松佳和

平成25年の新春を迎え、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。組合員の皆様には、お健やかに清々しい新年をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。また、平素は組合の業務運営全般にわたり組合員はじめ、関係機関の皆様から格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災後の復興に期待しましたが、未だ多くの被災者が憂いを抱えながら避難所生活を強いられている現状を、手を拱いて見ていることに忸怩たる思いしております。一日も早い復興を願って止みません。

さて、平成24年は長引くデフレを解消できず、景気の回復は足踏み状態で、目安となる住宅着工数も毎月増減を繰り返しているような状況にあります。

国では被災地支援を目的に工コ住宅の新築や改築を広く募集しましたが、十分な成果が見えないまま、住宅工コポイント制度も終えようとしております。しかし、年末にかけて住宅着工数が幾らか増加に転じたことは、今年の景気持ち直しに繋がるものと大いに期待しております。

このような中、今年度から始まりました「森林経営計画」の樹立と施業の実施では、組合員のご理解とご協力を得ながら進めてまいりましたが、管内全体の計画樹立とは至りませんでした。今まで蓄積してきたノウハウを活かし、緊急を要する施行地を優先しながら、早急に全域をカバーしてまいります。

この事業の着実な遂行に向け、職員一人一人が熱意と誠意をもつて組合員と接し、各種資格の取得をしながら、森林・林産業のスペシャリストとして活動できるように人材育成に努めてまいります。

一方、系統では「森林組合活動21世紀ビジョン・3rdステージ」-国産材の利用拡大と森林・林業再生運動-を展開しており、昨年度は素材取扱量が過去最高を記録して、幸先の良いスタートを切りました。2年目となる今年度は取扱量こそ前年度並みの推移ですが、丸太価格が約20%の下落と森林所有者をはじめとする生産者側にとっては誠に残念な結果となっております。3年目となる平成25年度は、提案型集約化事業を更に推進

し、高性能林業機械の利活用を図りながら、低コストで生産性の高い事業を行うことで組合員の皆様により多くの利益還元ができるよう最大限の努力をしております。また、森林組合系統で特筆すべき事として、佐藤重芳県森連会長が昨年6月、秋田県から初めて全国森林組合連合会の会長に選任されました。

佐藤会長は、日頃から「森林所有者への利益還元と木材の安定供給を心配しており、それには木材価格の引き上げが最も重要」と持論を唱えています。佐藤会長のリーダーシップのもと、林業県秋田を全国に発信し、業界全体が飛躍の年となるよう、系統が一致団結して支援してまいります。

最後になりますが、役員一体となり組合員皆様や関係機関のご理解を頂きながら、経営基盤の強化と改善に努め、管内林業の振興と発展に邁進する覚悟でございますので、本年も一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたしま

謹賀新年

代表理事組合長	小松佳和
副組合長理事	鈴木充
副組合長理事	小番勲
理事	佐藤喜久一郎
理事	工藤喜作
理事	猪股長一
理事	豊島晴紀
理事	初瀬東一
理事	佐々木幸一郎
理事	畑山作喜
理事	鈴木敏規
理事	伊藤修二
理事	斎藤惣一郎
理事	岡見晃一
理事	荘司範彦
理事	熊谷典夫
理事	加藤勲
理事	小松貢
理事	佐藤健一
理事	堀川悌二
理事	村上佐左衛門
代表監事	村上貞藏
監事	加藤貞藏
監事	加藤進
外職員一同	

事務所移転のお知らせ

鳥海支所、仁賀保支所の事務所が移転となりました。

鳥海支所

移 転 先 / 〒015-0592

由利本荘市鳥海町伏見字赤渋28-1

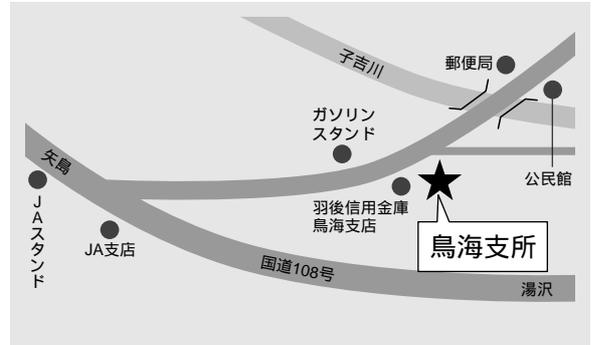
鳥海総合支所庁舎 2階

電話番号 / 0184-57-2115

FAX番号 / 0184-57-2118

(電話番号、FAX番号に変更はありません)

市庁舎の管理上、土曜日は組合員が庁舎内へ出入りできません。電話等での連絡は可能です。



仁賀保支所

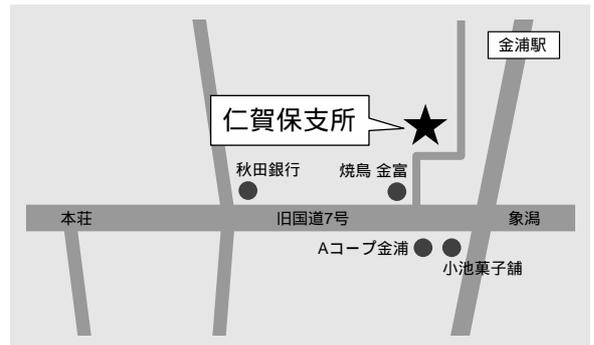
移 転 先 / 〒018-0311

にかほ市金浦字十二林184番地 1

電話番号 / 0184-38-4546

FAX番号 / 0184-38-4547

旧国道7号線沿いJA金浦支店前の小路を入った場所です。



木材乾燥施設が完成

近年の乾燥材製品需要に対応するため、今年度建設していた木材人工乾燥機が、西目製材工場「木香里」敷地内に完成しました。当施設で乾燥された製品（柱角等）は含水率と強度を測定し、当森林組合のロゴマークや品番を印字して出荷されます。住宅等の新築や増改築の際は是非ご利用くださるようお願いいたします。

「木香里」電話番号 0184-32-1080・FAX 0184-32-1081



木材人工乾燥機



ロゴマークや品番等の印字

由利管内の林内作業道の現況について

1 林内道路の現況

- ・由利管内の私有林内の公道や林道などの林内道路密度は19.8m / haで、全県の8管内別で第2位となっているほか、私有林内の作業道だけの密度も、同じく全県で第2位となっており、当管内の林内路網密度の現況は、県内では高い地域となっている。

2 地区別の作業道の現況

- ・林内路網のうち、林業の生産性に直接影響をおよぼす作業道の現況は、表 - 1 のとおりである。
- ・このうち東由利地区においては、昭和59年度から平成19年度までの24年間、旧東由利町単独事業である「森林強化育成事業」を実施し、伐開と敷砂利に助成しており、伐開（新規開設分）153,736m、敷砂利42,439m、総事業費、約152,000千円の実績となっている。この結果、東由利地区の林内作業道の密度は30.2m / haで管内随一となっている。

3 まとめ

- ・従来の作業道は、開設コストが高く延長が伸びにくかったため、林内路網密度の向上や効率的な搬出の推進といった面では課題があった。
しかしながら、平成19年度から造林補助事業において、簡易作業路が制度化されてからは、低コストな搬出用作業路の開設に対する支援であることなどから、当森林組合では、平成23年度まで延べ30万m以上の開設を実施しており、近年は、急速に林内作業道の整備が進んでいる。
- ・平成16年度の各地区の開設延長を100とした場合の、平成23年度の指数は、矢島地区の254を最高に、東由利地区の181（町単分は除く）、大内、本荘、由利地区などでも140～160となっているほか、仁賀保、象潟地区でも近年の伸びは大きくなっており、管内全体では、157となっている。
- ・これは成熟しつつあるスギ人工林の利活用へとシフトする造林補助制度に、当森林組合が積極的に取り組んでいる結果であり、間伐など、着実な森林整備が進められている証でもある。また、当管内では、現在も、由利本荘市、にかほ市ともに、市単独事業で、造林補助事業へのかさ上げ支援が実施されており、地域林業の活性化に大きな効果を及ぼしている。
- ・林内路網は、造林・保育・素材生産等の施業を効率的に行うための最も重要な生産基盤であるが、今後の作業道の整備に当たっては、森林GIS情報などを駆使し、森林経営計画や集約化計画等に基づき、より計画的な配備の推進を図るとともに、既設作業道の有効活用を図り、林地残材等を含めた丸太の低コスト生産を推進する必要がある。

表 - 1

	①森林面積 (ha)	S47 ~ H16		H17~H23	東由利町	作業路開設	密度(⑤/①) (m/ha)
		②延長 (m)	密度(②/①)	③延長 (m)	④町単独 (m)	⑤総計 (m)	
本荘地区	10,193	121,302	11.9	68,416		189,718	18.6
矢島地区	6,506	46,495	7.1	71,399		117,894	18.1
岩城地区	7,729	80,551	10.4	12,695		93,246	12.1
由利地区	6,109	67,225	11.0	28,108		95,333	15.6
西目地区	2,104	10,315	4.9	1,498		11,813	5.6
鳥海地区	14,923	89,644	6.0	20,848		110,492	7.4
東由利地区	9,558	74,539	7.8	60,001	153,736	288,276	30.2
大内地区	11,924	118,310	9.9	70,909		189,219	15.9
小計	69,046	608,381	8.8	333,874		1,095,991	15.9
仁賀保地区	4,066	18,385	4.5	17,000		35,385	8.7
金浦地区	558	2,771	5.0	5,700		8,471	15.2
象潟地区	6,640	16,571	2.5	10,185		26,756	4.0
小計	11,264	37,727	3.3	32,885		70,612	6.3
管内計	80,310	646,108	8.0	366,759	153,736	1,166,603	14.5

※資料は、「秋田県林業統計」ほかによる。作業路開設延長は、造林作業路・簡易作業路・間伐対策・高能率作業道、町単独事業等
※⑤総計は②+③、東由利地区のみ②+③+④

林業相談を紹介します



組合では堀江専任指導員、三浦指導員による林業相談を行っております。昨年度の相談から幾つかご紹介いたします。

作業道をつけたいが、補助金はあるのか。

補助のためには経営計画の作成が必要。森林組合に経営委託すれば計画の作成・認定を行っていく。詳しくは本所または担当支所に相談してほしい。

スギの木が枯れている。害虫による食害痕やヤニ漏出はなかった。隣接する川が氾濫したというので、大水の地下水流や水位変動による根の傷害等が考えられる。

スギカミキリが発生しやすい環境である。予防のためスミチオン乳剤（1000〜2000倍液）を幹の2〜3mに散布し、根回りを整理するとよい。

マツの葉が枯れてきた。一部の葉に褐色枯れや斑点の付着があった。樹幹や枝には枯れや腐朽はない。

カビが原因の葉枯病のようである。回復が見られるまで薬剤散布を行う。樹勢が弱まると発生しやすい病気のため、根回りを耕運して土壌改良剤を散布するとよい。

庭木のモミジ、カエデの幹に小さな穴があり、木屑がたくさん落ちていた。

キクイムシの穿孔被害である。市販の害虫駆除剤をノズルで穴に差し込んで噴霧し、周囲にはスミチオン乳剤を散布する。

被害が大きい場合は、枯れた部分やコブを削除して

防腐剤を塗る。樹勢回復のために木の周りを耕運し

バーク堆肥など混入し、周囲をきれいにするとよい。

夜行性で樹幹の中にいる虫のため、完全な駆除は難しい。2、3年根気よく駆除に努めること。

広葉樹の剪定について教えてほしい。

樹種により剪定時期は異なるが、成長期前（早春）が適期。

枝の途中から強い剪定をすると、枝が直立して樹形が損なわれるほか、腐れが入りやすくなる。全体を透くように剪定することが基本となる。剪定は太い枝を最初に、中位、細い枝の順に進める。

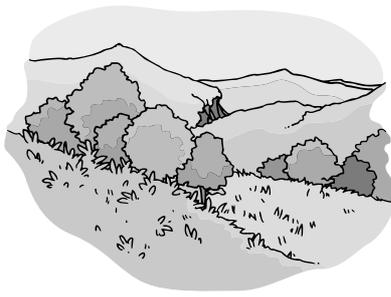
残枝が残らないように幹と平滑に切り、太い切り口には防腐剤を塗布する。

同じ位置から何本も枝が出ている場合は立ち枝や弱い枝を切る。新枝は残し、前年以前のものから切っていく。

サクラのテングス病に罹った枝はいつ頃の切除がよいか。

開花の時期は樹液の流動が激しく、切除により樹勢が衰えてくる。

10月下旬から翌年3月上旬頃までに実施するとよい。



平成24年度 林業相談日

相談員：三浦 光喜

1月	18日(金)
2月	15日(金)
3月	15日(金)

三浦指導員による相談日は毎月一度本所で予定しています。

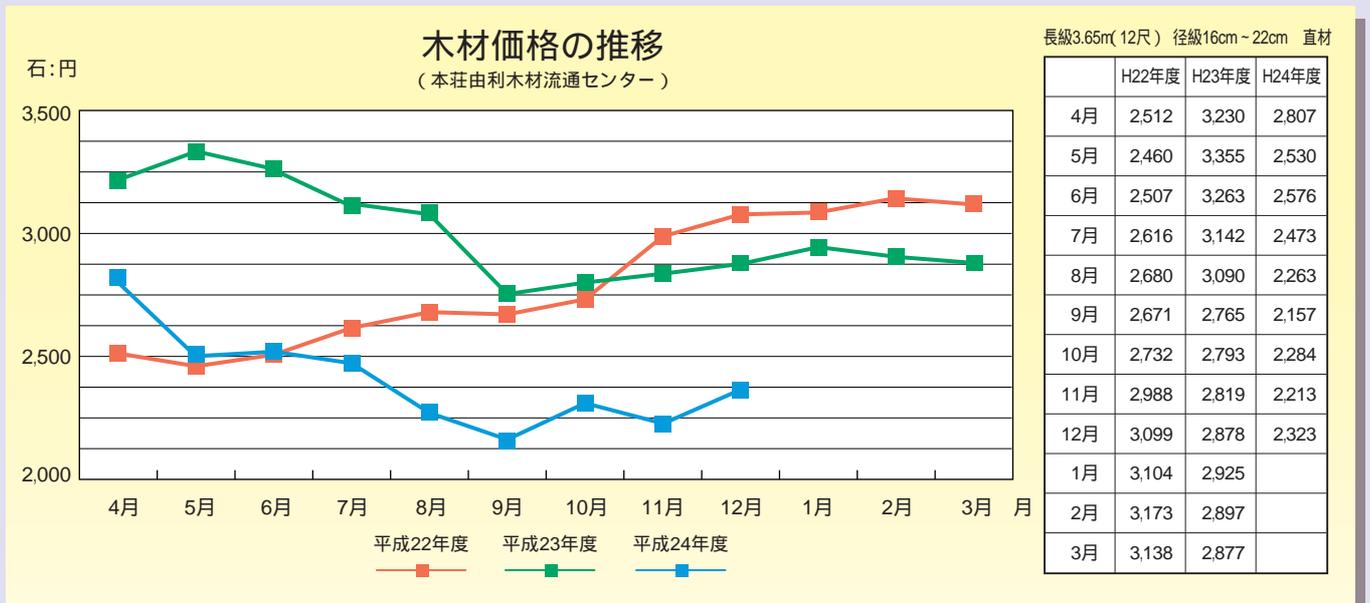
電話での相談もできますのでご連絡ください。今までに寄せられた林業相談についてはホームページでご紹介しておりますので、是非ご覧ください。

木材市況情報 (平成24年)

単位：円、上段（石当り価格）
下段 m³当り価格

樹種	材長 m	径級 cm	11月2日			12月4日		
			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格
スギ	3.65	16~22	(2,350) 8,461	(1,967) 7,082	(2,213) 7,967	(2,323) 8,366	(2,233) 8,059	(2,302) 8,279
		24~34	(3,361) 12,101	(3,096) 11,149	(3,204) 11,537	(3,333) 12,000	(3,078) 11,083	(3,233) 11,641
出材量・販売量・販売率			735m ³ (2,646石)・735m ³ (2,646石)・100%			799m ³ (2,876石)・799m ³ (2,876石)・100%		

11月：比較的若齢木が多かったが完売した。県内では製品状況に関係なく原木高の製品安の様相。
12月：16cm~22cmは横ばい、24cm~34cmはやや強含みで取引され、完売した。



《記事の訂正について》

広報91号（平成24年11月30日発行）4ページの優良作業員表彰の欄に、五十嵐仁さん（加工課）がご紹介されておりませんでしたので訂正の上お詫び申し上げます。

編集後記

表紙の写真は「根開き」といい、春の陽が差し始める頃に広葉樹に見られるそうです。近隣では鳥海山や月山のブナ林が知られています。

さて、この編集後記は「何を書いてもよい」とのこと、毎回悩みながら書いています。

担当の間は続けていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

(阿)

年末年始休業のおしらせ

12月29日(土)~1月6日(日)

1月7日(月)より
通常営業します。

